

令和3年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 16 日	前田孝人議員（尾道の会）	質問方式：一括質問方式
	<p>1 新型コロナウイルス感染防止対策</p> <p>(1) 「緊急事態宣言」発令後も、尾道市では急激な感染者の増加</p> <p>ア この原因をどのように分析しているのか。また今後の推測と対処方法は。市民の不安を払拭する施策についてはどうか</p> <p>イ 市民に情報が全く入ってこない。許される範囲で情報提供をすべきだがどうか</p> <p>(2) 新型コロナ入院患者の受け入れ</p> <p>ア 急増した市内感染者はどこへ入院し治療、療養をしているのか。また市民病院はコロナ患者用ベッドを7床確保しているが、入院患者を受け入れているのか</p> <p>イ 市民病院が確保しているコロナ患者用ベッド7床では当然不足する事となる。さらなる病床の確保が必要であるがその対応はどうか</p> <p>ウ みつぎ総合病院やJ A尾道総合病院においてもコロナ入院患者受け入れ病床の確保をしているのか</p> <p>(3) 多くの市民から電話をしても繋がらない、スマホを持っていない、やり方がわからない等の苦情があったと聞く。支援が必要であると思う。(仮)「予約サポートセンター」の開設をすべきだがどうか</p> <p>2 防災、避難所対策</p> <p>(1) 災害対策基本法の一部改正。避難情報変更の市民への周知</p> <p>ア この変更を受けて市民がいかに早く避難するかという事が重要である。そのための対策はどうか</p> <p>イ 高齢者や障害のある人など避難行動要支援者が迅速な避難を行うために、個別避難計画の作成が急がれるがどうか</p> <p>(2) コロナ禍における避難所問題</p> <p>ア コロナ禍にあって避難所での新型コロナウイルスの感染拡大防止が大きな課題である。避難所におけるコロナ感染症対策をどのように考えているのか</p> <p>イ コロナ感染自宅療養者等の避難先、避難所の確保はしているのか</p> <p>ウ 「3密」を避けるためにできる限り多くの避難所を開設する必要がある。近年の学校は空調設備も整備され、トイレは一部洋式に改修している。避難所として学校の教室を活用してはどうか</p>	

<p>6 月 16 日</p>	<p>(3) 南海トラフ大地震の対策 尾道市において極めて重要な南海トラフ大地震の防災対策はどうなっているのか。市民の安心、安全を本当に考えるならば、危険地域となりうる老朽木造家屋密集地域の安全対策を急ぐべきであるがどうか。火災対策についても同様である</p> <p>3 社会問題化している「生理の貧困」 新型コロナウイルス感染拡大の長期化で経済的に苦しくなった人が増えており、生理用品を購入できないという問題が深刻化している。 そうした中で全国の自治体で生理用品を無償で配布する支援が広がっている。県内では三次市、廿日市市や三原市が支援を始める。 尾道市ではこの問題、実態をどのように把握しているのか。また支援策は考えているのか</p> <p>4 中心市街地の久保、長江、土堂の3小学校問題 (1) 3小学校の4年先を示すべき 4月より久保小は久保中、長江小は長江中のプレハブの仮設校舎で新学期が始まった。土堂小は2学期からプレハブの仮設校舎での授業の予定である。市教委の説明では今後この仮設校舎で4年間の小学校生活が始まる。ただ児童、保護者や地域が心配し、一番気になっている4年後がどうなるのかということについては、市教委は未だ方向性を打ち出すこともなく白紙と繰り返すばかりだ。しかし4年後の方向を仮設校舎に移転する前に示すことは常識である。 それが児童や保護者に対する教育長の責務ではないのか</p> <p>(2) 土堂小学校の千光寺グランド仮設校舎への通学はロープウェイで ロープウェイの運行は年中無休である。乗っている時間は3分ほどで、山頂駅からは徒歩で下ってグラウンドの仮校舎へ登校する。児童は喜ぶと思う。4年間で1億数千万円もかかる通学対策バス代の軽減、あまりにも朝早すぎる通学バス第1便の始発時刻、ピストン運行のため第1便と第2便の間隔が1時間もあく事などの課題もクリアーできる。通学ルートの一つに加えて児童、保護者に提案してはどうか</p>
-----------------------------	---